

## 令和3年度第1回豊田市地域保健審議会議事録

開催日時：令和3年7月27日（火）14：00～15：40

開催場所：豊田市役所東庁舎7階 東大会議室3，4

出席者（敬称略）：渡邊真（会長）、田代和久（副会長）、大橋一之、谷友一郎、中田繁美、中出美代、吉田哲也、渡邊丈真、村瀬和好  
（欠席者）：岩月幸雄、長谷川喜代美、宮澤清人

（市側出席者）竹内保健部長兼保健所長、古澤保健部副部長、柴川保健担当専門監、佐野新型コロナウイルス感染症対策担当副参事、河合総務課長、浅井保健衛生課長、成瀬感染症予防課長、鈴木地域保健課長、大久保保健支援課長、神谷子ども家庭課長、朝居保健師総務・地域の健康づくり担当主幹、都築健康危機管理業務担当主幹、前田調整担当主幹兼副支所長、赤川総務課副課長（司会）

●竹内保健部長兼保健所長  
豊田市挨拶

○各出席者  
審議会副会長の選任

○渡邊会長  
審議会会長挨拶

○渡邊会長  
本日の議事録署名者を、議長より2名指名させていただきます。議事録署名者は、大橋一之委員と村瀬和好委員をお願いいたします。

### 議事

#### 【協議事項】

（1）今年度の重点取組について

●古澤保健部副部長  
重点取組の概要について説明

●各課長  
項目番号順に説明

○大橋委員  
私がちよっと知らないだけだと思うのですが、新型コロナウイルスの医療体制でよく病床数

だとか率が出てきますが、例えば豊田市以外の方が豊田市の病院に入れるだとか、自治体を跨ぐことがありますか。

●成瀬感染症予防課長

新型コロナウイルスの医療体制については、愛知県を中心として病床を確保していくという体制になっています。ただし、市内の陽性者の方で入院が必要であれば、もちろん最寄りの医療機関にお願いをしていきますが、当然、病床の状況がありますので、難しい場合は愛知県に連絡をして、愛知県の調整のもとに豊田市外の医療機関に入院するケースもあります。逆に、その逆のケースもあるので、必ずしもその市民だから市内の病院に入院するという状況ではないと御理解いただければと思います。

○村瀬委員

私は6月27日に2回目のワクチンを接種し、5日間は腕が痛い以外の副反応は無かったのですが、6日目に足湯に行った際にめまいがしたため、ワクチンの副反応なのか熱中症なのかが分からず病院を受診したところ、脱水症状による熱中症という診断を受けました。めまいのみの症状であったため、自分でも熱中症なのかコロナの症状なのか分からない場合、発熱外来に電話をかけても良いものですか。

○渡邊会長

個々のケースになりますし、ワクチンの接種後に少し時間をおいて症状が出てくる方もお見えになります。今回の議題とは変わってきますので、後程、個別に回答したいと思います。

○中出委員

ステイホームになり、体重が増加した人が多くなり、特定保健指導の栄養士が非常に忙しくなったという話を聞くのですが、豊田市の特定保健指導で特徴的なことはあるのでしょうか。

また、ステイホームによる体重増加等の調査を行ったり、豊田プラス10の実施により、どの程度効果が出ているのでしょうか。

なぜ、ステイホームの話と一緒にしたのかというと、ステイホームによって家庭食を作ることが多くなってきたのですが、野菜の摂取量が多くならないのは野菜料理を作るのが面倒だからということがあります。ステイホームで家庭食が見直されたり、野菜を作ることと上手に結び付けることで、野菜をとることができれば体重増加も少しは防げる、という感じになると良いと思ったのですが。

●河合総務課長

特定保健指導についてですが、本市の国民健康保険の特定保健指導の実施率と特定健康診査の受診率は、2ポイント程度直近では減少が見られています。これは緊急事態宣言の際の受診控えによるものなのではないかと推察をしております。また、野菜摂取量の確認についてですが、豊田市の健康づくり計画の策定前に市民生活実態調査を行っておりまして、これによって確認をしております。次回調査は来年度の予定でございますので、その段階で確かめられるか

などと思います。ステイホームによって活動量の減少があるのかもしれませんが、中食の充実が国全体の大きな傾向でもあり、国の計画の中でも取組を進めていくということが示されておりますので、そういった整理の中で市としても取組んでいきたいと思っております。

○田代委員

とよた健康マイレージ事業についてお聞きしたいと思いますが、これは新規事業ということで、本年4月からの実施ということですが、実績や今までの進捗状況を教えていただきたいと思っております。

●河合総務課長

今年度の実績ですが、アプリを活用いただいている方、ダウンロード数は480から490名程度といった状況です。もう少し多くの方に積極的に活用していただきたいと思っておりますので、引き続き広報啓発等を実施してまいります。

○田代委員

とよた健康マイレージ事業については我々歯科医師会としても、医療機関と協力して、例えばリーフレットを置くというような啓発普及の手段が色々とあると思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

○村瀬委員

6ページ目の(2) コロナ禍における高齢者の健康づくり事業と推進の①元気アップ教室の開催のところになります。私の記憶だと元気アップ教室は2年程前から、市の保健師の方々が中心に、交流館などで地域の住民を集めて体力作りとしてやっていて、その卒業生の方々が自主グループのような形で、それぞれの地元で体力づくりを交流館等でやっているという経緯だったと思います。現在は新型コロナウイルスの関係で、それ自体がストップしているような状況だと思うのですが、運営的なところから言うと、例えばこの新型コロナウイルスが終息した辺りで、もう一度保健師の方で元気アップ教室の生徒を集めて行うのと、自治体の中の自主グループでやっている方の両方を並行して行うのかを教えてください。

●鈴木地域保健課長

昨年度は新型コロナウイルスの影響で、まだまだワクチンを接種できていない状況でしたので中止という決断をしました。自主活動グループというのは193グループありますが、先ほど説明したとおり、保健師を派遣して感染対策と活動状況に対するアドバイスをする形で進めております。それから元気アップ教室も、10月以降に高齢者の方がおおむね2回接種ができたところを見計らいながら、再開して進めてまいります。

○中田委員

従来では精神障がいに関するケースワーカーからの相談対応があれば障がい福祉課に持っていったのですが、昨年から精神障がいに関わることについては全て保健部が変わったとい

う理解でよろしいですか。

●大久保保健支援課長

主として、精神保健に関わる部分のうち、保健所業務の精神保健に関わる部分は保健部で担当しておりますが、一部、精神保健手帳の交付等の福祉サービスに関わる部分については、福祉部に残っております。したがって、保健部としては精神障がい者の方の相談や医療に繋げていくような部分や地域包括ケアシステムの構築といった施策的な部分については保健部が中心に実施をしています。ただし、保健部だけでできるわけではありませんので、福祉サービス等の広い意味で関連部署がありますので、従前どおり、障がい福祉課、障がい福祉事務局と連動しながら、事業を実施していくこととなります。個別の窓口で相談をしたいということであれば保健部の方に御案内いただければと思っております。

○谷委員

犬猫殺処分数が毎年順調に減っているのはすごく素晴らしいことだと思います。

地域猫の不妊去勢手術を実施され、また、保護動物の譲渡を積極的に行われている効果が出ているのではないかと思います。非常に良い取組だと思いますので、今後も継続して行っていただくとよいと思います。

【報告事項】

●河合総務課長

報告事項1、「豊田市禁煙治療費助成事業について」について説明

○渡邊会長

ただいま説明がありましたが、現在、内服のチャンピックスという薬に問題があって流通していないような状況ですよ。11月30日までに禁煙治療を受けるということなのですが、チャンピックスについて、吉田委員、何か情報がありますでしょうか。

○吉田委員

はっきりした情報は掴んでいませんが、実際にチャンピックスが入荷してこないという状況のようです。そのため、恐らく今続けておられる方は何とかなっているのかもしれませんが、新規になると供給されない状況が発生していると聞いております。

○渡邊会長

禁煙治療に用いられるのは多くがチャンピックスですよ。

○吉田委員

そうですね、医療の方ではチャンピックスを主に処方していて、それに伴ってニコチネルTTSだとか、薬局で買えるべき禁煙補助薬が薬局の方でもないという状況も発生していますので、禁煙がしづらくなっているのが現状だと思います。

○渡邊会長

ありがとうございました。流通の兼ね合いもありますので、事業の最終期限を延ばす等を御検討いただいたら良いかと思えます。

○吉田委員

最近ではインターネットで、電子タバコが安全で費用も安く済むという話が出てくるのですが、アメリカ等では電子タバコは肺に影響があって止めましょうという話が出ています。それを考えると、禁煙の推進の中で電子タバコが良くないということをアピールできないのかと思うのですが、いかがでしょうか。

●河合総務課長

製品としては新しいということで、まだ知見が十分に集まっていないというところもございます。そこで国全体の動向も確認しながら、注意喚起の仕方を市としても検討し、普及啓発を進めさせていただきます。

●浅井保健衛生課長

報告事項2、「改正食品衛生法への対応について」について説明  
委員からの質問及び意見無し

●成瀬感染症予防課長

報告事項3、「新型コロナウイルスについて」について説明

○渡邊会長

非常にワクチンの接種も順調に進んできているのではないかと思います。当初は7割の接種を目標に計画を全て立ててきたと思うのですが、高齢者においては接種率が恐らく7割を超えています。先程のデータでも、一番最近のデータで70歳以上の新型コロナウイルス感染症の患者が1人しかいないということなので、これがワクチンの効果であってほしいなと願っております。

○大橋委員

他の市でも豊田市と同じような新型コロナウイルスのワクチンパスポートを発行されているのですか。

●成瀬感染症予防課長

ワクチンパスポートについては国の取組となります。この証明書、パスポートを発行するのは市町村なので、お住まいの市町村で申請をして受け取るものになります。

○大橋委員

例えば、職域接種を受けた人でも、後からでもワクチンパスポートを発行できるということですか。

●成瀬感染症予防課長

はい、そのとおりです。全国の接種記録は接種記録システムVRSに登録をされますので、ワクチン接種証明書が欲しい場合は豊田市役所で申請をしていただくことになります。

○渡邊会長

あと、最近また少し症例が出てきたということですが、新規感染者の聞き取りなどをしていて特徴的なことはあるのでしょうか。

●成瀬感染症予防課長

聞き取りの中では県外というような記述が多く、それから集計のところを見ていただくと若い世代の方が多いので、多くの人と接触をしているのだらうと推察しております。

○田代委員

我々歯科医師会においても、先月辺りから愛知県県営空港での集団接種において愛知県歯科医師会からの要請でワクチン接種に参加させていただいているのですが、本市においては集団接種における歯科医師の登用というのはいかがお考えでしょうか。

●成瀬感染症予防課長

豊田市におきましては、医療従事者の方、いわゆる医師の方、それから看護師の方の御協力が非常に積極的です。現時点で歯科医師の先生方に接種の御協力をいただく予定は立てなくても済むと考えております。

○中田委員

本日付で12歳から15歳までの接種券が全て発送されたということですが、現時点で愛知医科大学メディカルセンター等の新型コロナウイルスワクチンの接種会場を予約できますか。

●成瀬感染症予防課長

本市が開く集団接種の会場については、一回目の予約を休止させていただいておりますので、集団接種の会場は予約できません。大規模の集団接種会場については県が主体になりますので、私どもからはまだ詳細を話すことができません。あとは、各医療機関が受け付けている個別接種については特にかかりつけの小児科の先生方に御相談いただくことになります。

○村瀬委員

市職員の担当者の話では大規模接種会場である岡崎市の愛知医科大学メディカルセンターについて、8月23日までは2回目の接種予約が埋まっており、国からのワクチンの削減などの状況により、回答ができないということでした。

— 以上 —

令和3年7月27日

議事録署名人

㊟

議事録署名人

㊟